

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 26 年 1 月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 5

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 1 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 26 年 1 月）

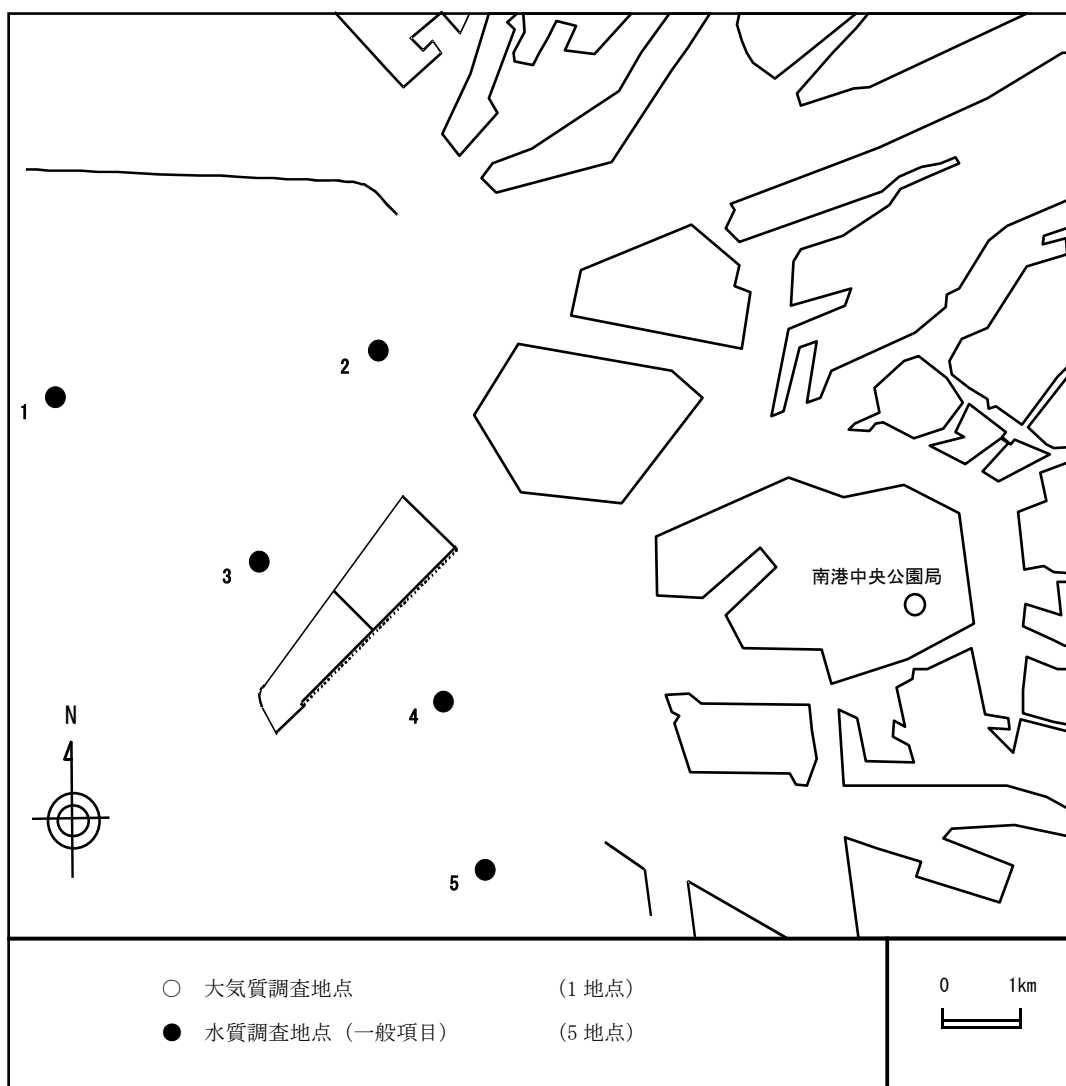
埋立地周辺における調査

(1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	1月1~31日	通年連続

(2)水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	1月8日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			



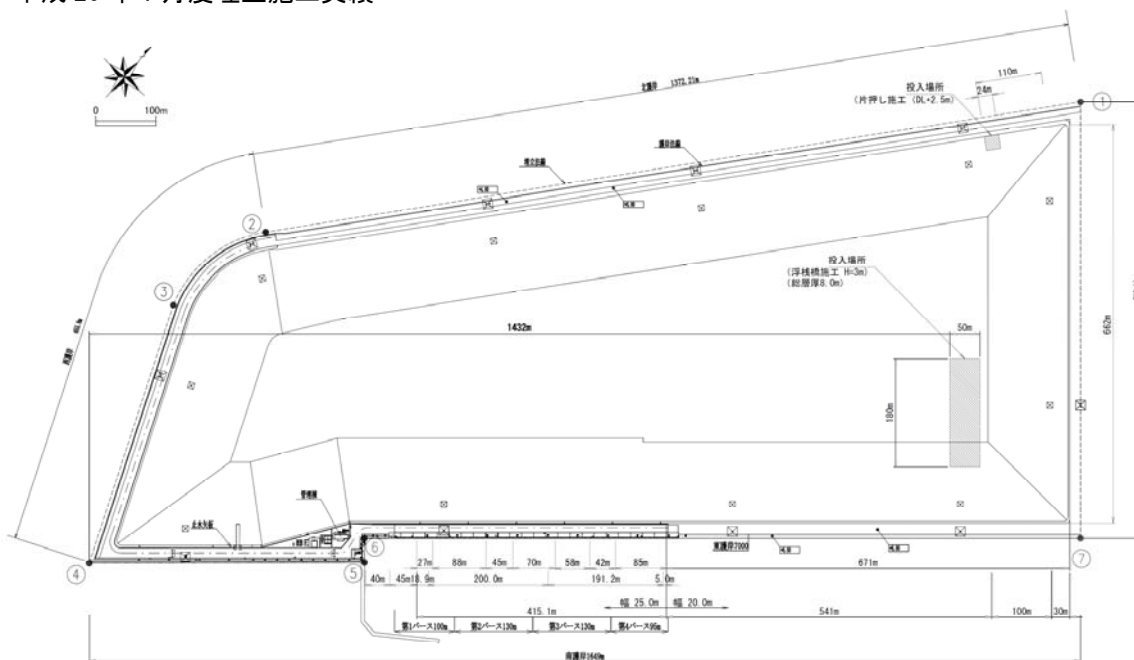
図一 大気質、水質（一般項目）の調査地点（平成 26 年 1 月）

2. 工事の実施状況

平成 26 年 1 月の工事の実施状況は、図－2 (1)、(2)、表－2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図

平成 26 年 1 月度埋立施工実績



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
2,569,059	18.4

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m³

図－2 (1) 工事の実施状況 (平成 26 年 1 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.006ppmであった。また、日平均値の最高値は0.011ppm、1時間値の最高値は0.022ppmであり、環境基準を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.030ppmであった。また、日平均値の最高値は0.056ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.026mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.051mg/m³、1時間値の最高値は0.081mg/m³であり、環境基準を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目）[水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.3、下層で8.2～8.3の範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.4～3.4mg/L、下層で2.1～3.2mg/Lの範囲にあり、調査地点4の上層、下層を除く全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準を超過した調査結果は、上層における調査地点4(3.4mg/L)、下層における調査地点4(3.2mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/L、下層で1.2～3.6mg/Lであり、いずれもこの範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層8.8～9.5mg/L、下層で7.9～8.4mg/Lの範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.46~0.89mg/L、下層で 0.23~0.38mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2, 4 において環境基準値を上回っていたが、他の調査地点では環境基準値を満たしていた。下層では全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

環境基準を上回った調査結果は、上層における調査地点 2(0.76mg/L)、調査地点 4(0.89mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)では上層で 0.46~2.1mg/L でこの範囲にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.038~0.059mg/L、下層で 0.032~0.054mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 3, 5 において環境基準を満たしていたが、他の調査地点では環境基準値を上回っていた。下層では調査地点 5 において環境基準を上回った以外は全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

環境基準を上回った調査結果は、上層における調査地点 1(0.053mg/L)、調査地点 2(0.052mg/L)、調査地点 4(0.059mg/L)、下層における調査地点 5(0.054mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)では上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25 mg/L でいずれもこの範囲にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で<1~1 度(カリン) 、下層で<1~3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で<1~1mg/L、下層で 1~4mg/L の範囲であった。

8) クロコフィル a

クロコフィル a は上層で 2.2~6.9 μ g/L、下層で 0.7~2.4 μ g/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔平成26年1月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	8
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成26年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (水)	0.007	0.017
	2 (木)	0.010	0.020
	3 (金)	0.021	0.043
	4 (土)	0.022	0.043
	5 (日)	0.011	0.039
	6 (月)	0.034	0.042
	7 (火)	0.047	0.061
	8 (水)	0.043	0.052
	9 (木)	0.020	0.035
	10 (金)	0.018	0.037
別	11 (土)	0.020	0.045
	12 (日)	0.023	0.043
	13 (月)	0.015	0.025
	14 (火)	0.038	0.054
	15 (水)	0.037	0.054
	16 (木)	0.035	0.061
	17 (金)	0.036	0.052
	18 (土)	0.024	0.046
	19 (日)	0.006	0.013
	20 (月)	0.046	0.063
値	21 (火)	0.022	0.034
	22 (水)	0.028	0.044
	23 (木)	0.038	0.058
	24 (金)	0.047	0.059
	25 (土)	0.056	0.067
	26 (日)	0.017	0.056
	27 (月)	0.028	0.053
	28 (火)	0.041	0.062
	29 (水)	0.047	0.068
	30 (木)	0.056	0.066
	31 (金)	0.035	0.048
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.030	
日平均値の最高値 (ppm)		0.056	
1時間値の最高値 (ppm)		0.068	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		8	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果[平成26年1月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日 別	1 (水)	0.008	87.5	0.019
	2 (木)	0.010	100.0	0.022
	3 (金)	0.025	84.0	0.055
	4 (土)	0.035	62.9	0.087
	5 (日)	0.012	91.7	0.044
	6 (月)	0.053	64.2	0.108
	7 (火)	0.098	48.0	0.204
	8 (水)	0.099	43.4	0.181
	9 (木)	0.024	83.3	0.051
	10 (金)	0.022	81.8	0.054
	11 (土)	0.024	83.3	0.064
	12 (日)	0.039	59.0	0.093
	13 (月)	0.017	88.2	0.032
	14 (火)	0.060	63.3	0.189
	15 (水)	0.071	52.1	0.174
値	16 (木)	0.079	44.3	0.240
	17 (金)	0.065	55.4	0.178
	18 (土)	0.036	66.7	0.117
	19 (日)	0.006	100.0	0.013
	20 (月)	0.100	46.0	0.215
	21 (火)	0.025	88.0	0.042
	22 (水)	0.034	82.4	0.055
	23 (木)	0.068	55.9	0.224
	24 (金)	0.103	45.6	0.242
	25 (土)	0.126	44.4	0.280
	26 (日)	0.020	85.0	0.090
	27 (月)	0.041	68.3	0.136
	28 (火)	0.095	43.2	0.251
	29 (水)	0.103	45.6	0.269
	30 (木)	0.163	34.4	0.272
	31 (金)	0.047	74.5	0.122
有 効 測 定 日 数 (日)		31		
測 定 時 間 (時間)		739		
月 平 均 値 (ppm)		0.055		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.163		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.280		
月 平 均 値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		66.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成26年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (水)	0.041	0.056
	2 (木)	0.027	0.054
	3 (金)	0.021	0.039
	4 (土)	0.024	0.047
	5 (日)	0.013	0.023
	6 (月)	0.016	0.031
	7 (火)	0.026	0.043
	8 (水)	0.029	0.057
	9 (木)	0.009	0.021
	10 (金)	0.009	0.025
別	11 (土)	0.021	0.037
	12 (日)	0.034	0.049
	13 (月)	0.020	0.046
	14 (火)	0.018	0.039
	15 (水)	0.017	0.052
	16 (木)	0.016	0.031
	17 (金)	0.019	0.035
	18 (土)	0.031	0.081
	19 (日)	0.009	0.019
	20 (月)	0.033	0.051
値	21 (火)	0.030	0.055
	22 (水)	0.019	0.027
	23 (木)	0.027	0.048
	24 (金)	0.034	0.055
	25 (土)	0.051	0.067
	26 (日)	0.028	0.064
	27 (月)	0.018	0.051
	28 (火)	0.034	0.067
	29 (水)	0.037	0.065
	30 (木)	0.048	0.073
	31 (金)	0.034	0.057
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (mg/m ³)		0.026	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.051	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.081	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)
 は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔平成26年1月分〕

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最 多 風 向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日 別	1 (水)	(-)	(-)	(-)	(-)
	2 (木)	(-)	(-)	(-)	(-)
	3 (金)	(-)	(-)	(-)	(-)
	4 (土)	(-)	(-)	(-)	(-)
	5 (日)	(-)	(-)	(-)	(-)
	6 (月)	(-)	(-)	(-)	(-)
	7 (火)	(-)	(-)	(-)	(-)
	8 (水)	(-)	(-)	(-)	(-)
	9 (木)	(-)	(-)	(-)	(-)
	10 (金)	(-)	(-)	(-)	(-)
	11 (土)	(-)	(-)	(-)	(-)
	12 (日)	(-)	(-)	(-)	(-)
	13 (月)	(-)	(-)	(-)	(-)
	14 (火)	(-)	(-)	(-)	(-)
	15 (水)	(-)	(-)	(-)	(-)
値	16 (木)	(-)	(-)	(-)	(-)
	17 (金)	(-)	(-)	(-)	(-)
	18 (土)	(-)	(-)	(-)	(-)
	19 (日)	(-)	(-)	(-)	(-)
	20 (月)	(-)	(-)	(-)	(-)
	21 (火)	(-)	(-)	(-)	(-)
	22 (水)	(-)	(-)	(-)	(-)
	23 (木)	(-)	(-)	(-)	(-)
	24 (金)	(-)	(-)	(-)	(-)
	25 (土)	(-)	(-)	(-)	(-)
	26 (日)	(-)	(-)	(-)	(-)
	27 (月)	(-)	(-)	(-)	(-)
	28 (火)	(-)	(-)	(-)	(-)
	29 (水)	(-)	(-)	(-)	(-)
	30 (木)	(-)	(-)	(-)	(-)
	31 (金)	(1.5)	(2.8)	(WSW)	(WSW)
測 定 時 間 (時間)		(11)			
月 平 均 風 速 (m/s)		(1.5)			
月 最 大 風 速 (m/s)		(2.8)			
月 最 多 風 向 (16方位)		(WSW)			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

3. 風向・風速計の修理のため、1月1日1時から1月31日13時までは欠測である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成26年1月分]

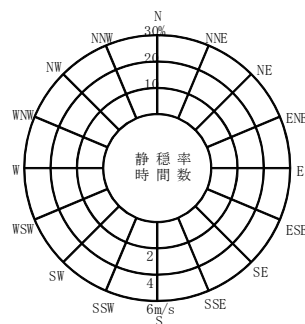
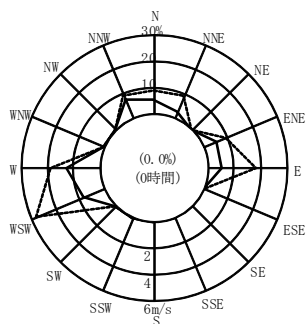
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	(1)	(-)	(1)	(2)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(2)	(-)	(-)	(1)	(1)	(-)	(11)
頻度 (%)	(9.1)	(-)	(9.1)	(18.2)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(27.3)	(18.2)	(-)	(-)	(9.1)	(9.1)	(-)	-
平均風速 (m/s)	(0.6)	(-)	(1.1)	(1.1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1.6)	(2.5)	(-)	(-)	(1.5)	(1.1)	(-)	-

注:1.大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。
 2. 風向・風速計の修理のため、1月1日1時から1月31日13時までは欠測である。
 3. 測定時間が合計11時間であったので、() 書で参考値として記載している。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡 例



—— 平均風速
 - - - - 出現頻度

注:1.大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。
 2. 測定時間が合計11時間の参考値で作成した風配図を示す。

風 配 図 [平成26年1月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成26年 1月分]

調査日：平成26年 1月 8日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値 ～ 最大値	平均値
	時刻								
時刻			10:25	9:55	9:17	9:12	10:05	—	—
透明度 [m]			6.2	7.8	8.0	6.8	7.5	6.2 ～ 8.0	7.3
水温 [°C]			10.8	11.0	11.1	10.3	11.5	10.3 ～ 11.5	10.9
			12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1 ～ 12.1	12.1
塩分 [—]			28.82	28.61	30.14	25.57	30.40	25.57 ～ 30.40	28.71
			31.83	31.84	31.90	31.93	31.89	31.83 ～ 31.93	31.88
濁度 [度(カリン)]			1	<1	<1	<1	<1	<1 ～ 1	1
			2	1	<1	3	3	<1 ～ 3	2
浮遊物質量 (SS) [mg/L]			1	<1	<1	1	<1	<1 ～ 1	1
			3	1	2	4	3	1 ～ 4	3
水素イオン濃度 (pH) [—]			8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3 ～ 8.3	—
			8.3	8.3	8.3	8.2	8.3	8.2 ～ 8.3	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]			2.9	2.9	2.4	3.4	2.4	2.4 ～ 3.4	2.8
			2.4	2.5	2.1	3.2	2.2	2.1 ～ 3.2	2.5
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]		9.5	8.9	9.1	9.0	8.8	8.8 ～ 9.5	9.1
			8.1	7.9	8.2	8.4	8.2	7.9 ～ 8.4	8.2
	飽和度 [%]		102	96	99	93	97	93 ～ 102	97
			92	89	92	95	92	89 ～ 95	92
全窒素 (T-N) [mg/L]			0.58	0.76	0.52	0.89	0.46	0.46 ～ 0.89	0.64
			0.25	0.32	0.23	0.38	0.29	0.23 ～ 0.38	0.29
全磷 (T-P) [mg/L]			0.053	0.052	0.038	0.059	0.047	0.038 ～ 0.059	0.050
			0.044	0.044	0.032	0.047	0.054	0.032 ～ 0.054	0.044
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]			6.9	3.8	4.6	2.2	2.3	2.2 ～ 6.9	4.0
			0.9	2.4	0.7	2.0	0.9	0.7 ～ 2.4	1.4

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
